

# ICO Japan東京本社の「板橋」はこんな町

ICO Japan東京本社事務所がある板橋は地味なイメージだが、実は歴史的な街である。

江戸時代に整備された五街道の一つ、旧中山道69次（日本橋～京都、京都直前の2次は旧東海道と共通なので旧中山道単独で67次とも言う）で、日本橋を出発して最初の宿場が板橋宿である。

板橋宿は京都から近い順に（北から）、上宿、仲宿、下宿の三つの宿場（全体で南北約2km）の総称である。現在は、それぞれの中心地をつなぐように都営地下鉄三田線の駅が三つ並んでいる。ICO Japanの事務所は上宿のエリアにある。



現在の「板橋」

かみしゆく なかしゆく しもしゆく



月刊

発行所  
株式会社ICO Japan  
東京都板橋区大和町29-11  
帝北ビル3階  
電話：03-6903-5646

「仲宿」の商店街



「板橋」の地名の由来は上宿と仲宿の境目となる石神井川にかかる橋である。現在の橋はコンクリート製だが、往時は文字通り板張りの木製であった。板橋は幕末のエピソードに事欠かないが、特に有名なものを挙げてみる。

- ・ 皇女和宮が14代将軍家茂に降嫁するため旧中山道を下向した際、江戸城に入る前夜に宿泊した(1861年)。
- ・ 戊辰戦争で江戸を目指して東進してきた新政府軍(官軍)が、13代将軍家定の正室であった天璋院篤姫からの書状により(諸説あり)、進軍の足を止めた(1868年)。
- ・ 偽名で潜伏していた新選組の近藤勇が正体を見破られて捕縛され、処刑された(1868年)。

歴史に思いをはせながら、散歩としゃれ込むのも一興であろう。旧中山道沿いは商店が立ち並んでいるので、飲食やショッピングも楽しめる。

近藤勇と土方歳三の墓  
(同じ敷地には永倉新八の墓もある)



## 特定技能1号在留外国人数発表される

特定技能1号在留外国人数(2021年6月30日現在)

国名	人数	割合
ベトナム	18,191	62.4%
フィリピン	2,621	9.0%
中国	2,499	8.6%
インドネシア	2,338	8.0%
ミャンマー	1,265	4.3%
タイ	697	2.4%
カンボジア	636	2.2%
ネパール	329	1.1%
その他	568	1.9%
合計	29,144	100.0%

出入国在留管理庁から2021年6月末現在の特定技能1号在留外国人数が発表され、在留者数は29,144人となった。3月末から6,577人増加したが、そのうち4,582人(69.7%)は技能実習からの移行であった。

国別では、依然ベトナムが18,191人でトップであるが、フィリピンがインドネシアと中国を抜いて2位となった。